

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、2022年第42週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

方法等

対象期間

令和4年 第42週分 10月18日～10月24日公表分

症例定義

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」において
上記期間に富山県内で報告された症例
→ 2,679例

情報源

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」より、次の情報をまとめた

- 流行曲線、実効再生産数（Rt）、年代分布、年代別報告数の推移 等

図1. COVID-19流行曲線（富山県）

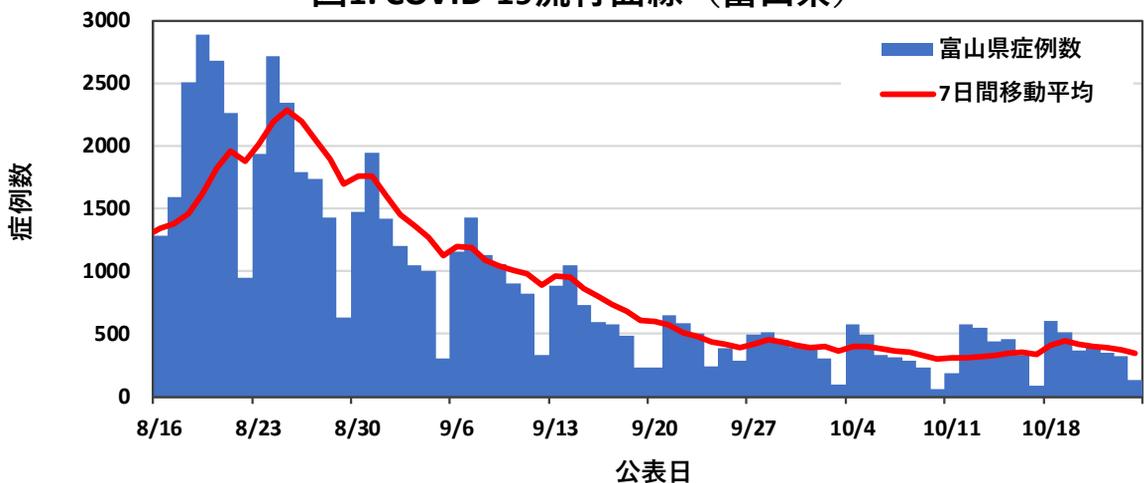
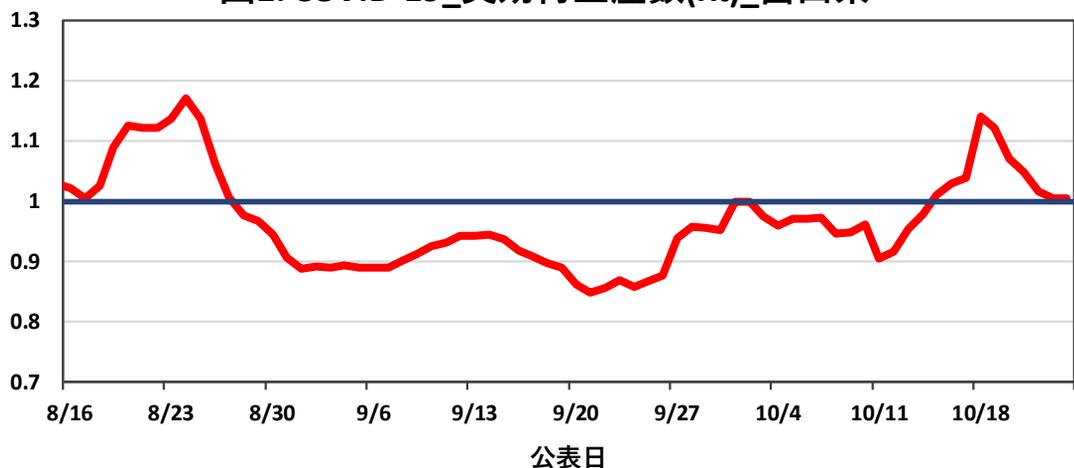


図2. COVID-19_実効再生産数(Rt)_富山県



$Rt = (\text{直近7日間の新規感染者数} / \text{その前7日間の新規感染者数}) \wedge (\text{平均世代時間} / \text{報告間隔})$
平均世代時間 = 2日、報告間隔 = 7日 で算出。

図3. COVID-19年代分布（富山県、42週）

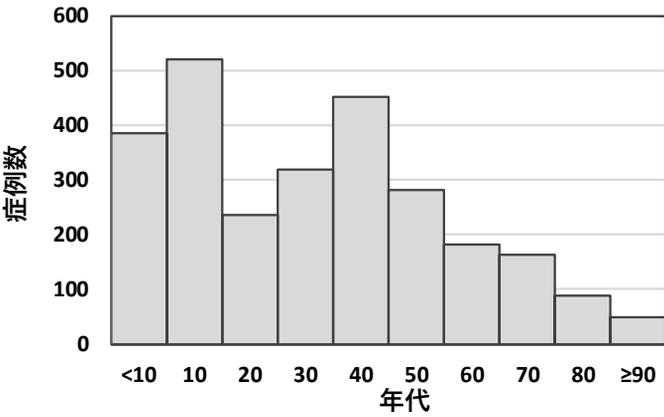


図4. COVID-19年代別割合（富山県、42週）

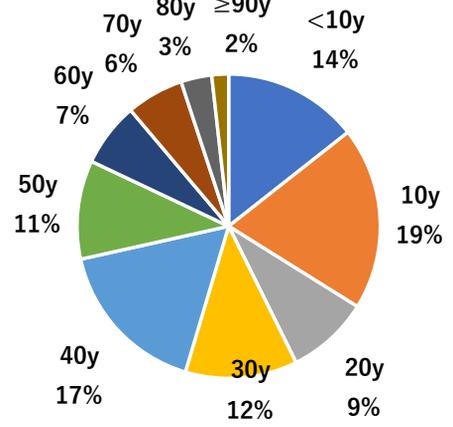


図5. 年代別報告数の推移（富山県）

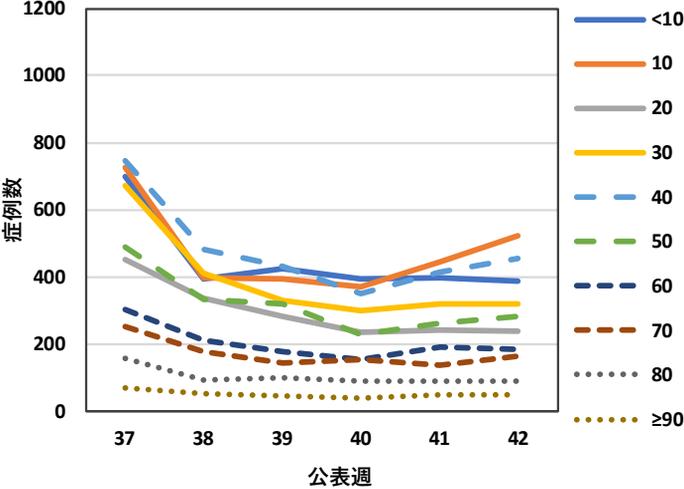
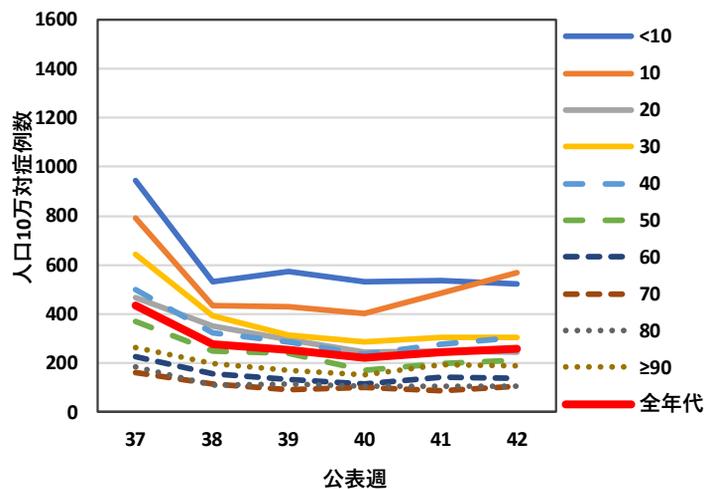


図6. 年代別報告数の推移（富山県、対人口10万）



10月24日時点での所見と考察

- 第42週の新規報告数は、2,679例。先週（2,631例）よりわずかに増加し、横ばいの状況が続いている。
- 実効再生産数（図2）は、10/18に1.14であったがその後低下し、10/24時点で1.01。
- 第42週に報告された症例の年代分布（図3：ヒストグラム、図4：円グラフ）を示す。先週と同様に10歳代、40歳代、10歳未満の順に症例数が多い状況。60歳以上の年代は18%。
- 年代別報告数の推移を図5、年代別人口当たり報告数の推移を図6に示す。図5の年代別推移で見ると、10歳代、次いで40歳代の増加傾向が認められた。